

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

げんきに なかよく ちからいっぱい  
 ～人や自然とつながり、心豊かでたくましい大山っ子の育成～

2 今年度の重点目標

- (1) 発達や学びの連続性を踏まえた教育を充実する。
- (2) 基本的な生活習慣を身につけ、健全な心身の基礎を培う。
- (3) さまざまな体験から豊かな感性と創造性を高める。
- (4) 友だちとのかかわりを大切に、助け合い、協力ができる子どもを育成する。
- (5) 身近な自然を通して人と関わる力を育む教育の充実を図る。
- (6) 地域とともにある幼稚園づくりを推進する。
- (7) 安全・安心な園づくりに職員一丸となって取り組む。
- (8) 教職員としての資質と実践的指導力の向上を図る。
- (9) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程・指導	遊びや保育活動を通して、園児一人一人のよさや可能性を發揮させながら、他人とのかかわり、生きる力の向上や生活習慣の確立をめざすことができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の個性を大切にしながら、教育目標の達成に向けて取り組んでいる。</li> <li>・小規模園であることや4・5歳児合同クラスのよさを生かしながら、人との関わりを重視した教育活動を推進している。</li> <li>・4歳児・5歳児の発達段階や個々の課題に応じた関わりを大切に、一人一人のよさや可能性を伸ばしていく。</li> </ul>
	一人一人の子どもが自立に向かうための指導や支援ができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育、眠育、あそびの視点を大切に基本的な生活習慣を身につけていくため、保育の工夫をしたり家庭との連携をしたりして取組の充実に努めた。</li> <li>・園内支援委員会を定例化し、個々の支援について全職員で考え共通理解を図るべく取り組んだ。</li> </ul>
	幼・小学校の連携を大切に、発達の連続性を考慮した保育の推進に取組めたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、運動会等の行事のほか、小学校とさまざまな交流をすることができた。幼小連携方策のあり方についての工夫を更に行う必要がある。</li> <li>・年長児の様子を小学校の全教員が保育参観するなど連続性を考慮した取組の充実を図った。</li> </ul>
家庭・地域との連携	家庭や地域の協力のもと、身近な自然を通して人とのかかわったり、五感を育んだりできる保育に取組めたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域素材を生かした保育の充実や地域の方々との交流、近隣の幼稚園と連携が図れた。</li> <li>・自然の中で人とかかわりを大切にする保育に努めているが、さらに充実させていくために、地域資源(自然や人)の新たな開拓にも取り組んでいく必要がある。</li> </ul>

安全管理	安全で安心した園づくりに取り組むとともに、安全に過ごそうとする態度や思いやりの心を育むことができたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五感に働きかける体験活動を積極的に推進し、安心・安全な保育をできる環境整備に努めている。</li> <li>・保育室での過ごし方や遊具の使い方などについて、機会を捉えて園児に振り返らせて指導するように努めている。</li> <li>・安全点検では、小学校職員との連携のもと、できるだけ多くの視点で検証できるように留意した。</li> </ul>
------	---	---	--

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・4・5歳児の合同クラスの良さを生かすため、「なかよしペア」を活用し、協働性に重点をおいた取組は、園児にとって成長のはずみとなる。</li> <li>・大山地区の自然豊かな特性を生かして、よもぎ摘みやサワガニとりなど、地域の方々の協力と支援のもとで五感に働きかける楽しい生活経験を積み上げることができている。</li> <li>・園児が幼稚園に喜んで通っていることを大切にしていきたい。</li> <li>・小規模園のよさを生かした取組を進めつつ、課題点にしっかりと手立てをうつことが大切である。</li> </ul>
--

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校園だよりやHPなどで園や園児の様子がよく分かる。特にHPの活用は保護者にスピーディーに情報を届けることができる。</li> <li>・少人数だからこそできることもあると考えられるので、思い切って新しい取組をどんどん進めていってもらいたい。</li> <li>・保護者による評価において生活習慣のところが特に気になる。人として当たり前身につけておくべきことについて、学んだり話し合ったりすることができるとうい。</li> </ul>
---

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
遊びや保育活動を通して、園児一人一人のよさや可能性を發揮させながら、他人とかかわり、生きる力の向上や生活習慣の確立をめざすことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4・5歳児のなかよしペアの活動を意図的に取り入れていくことで人との関わりに広がりが見られた。家庭での関わりを基盤に、社会性を園でさらに伸ばしていければと思う。</li> <li>・一人一人個性があり、成長の度合いに違いがあるので、良いところ誉めつつ、更に伸ばしていきたい。</li> </ul>
一人ひとりの子どもが自立に向かうための指導や支援ができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援委員会で協議をすすめているが、日々の支援の中でしっかりと課題を職員間で共有し、対応方策を進めながら、検証も丁寧に行う必要がある。</li> </ul>
幼・小学校の連携を大切にし、発達の連続性を考慮した保育の推進に取組めたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等を一緒に行うことも大切だが、日常のことがらにおいても目的を共有して園と学校がさらに連携を進めたい。</li> <li>・小学校へのスムーズな移行ができるよう工夫している。</li> </ul>
家庭や地域の協力のもと、身近な自然を通して人とかかわったり、五感を育んだりできる保育に取組めたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季を五感で感じ、大山の自然を生かした活動（魚とりや山登り等）についても取り組んでほしい。</li> <li>・地域のいろいろな方と交流することは、子どもたちにとって人に優しく接していくことにつながる。</li> </ul>
安全で安心した園づくりに取り組むとともに、安全に過ごそうとする態度や思いやりの心を育むことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安全で安心して園生活が送れるよう、丁寧に点検し、報告するように努められている。</li> <li>・教職員と保護者がPTA美化作業日にあわせて安全点検を一緒にするなど、安全な環境作りに取り組んでいる。</li> <li>・教職員が保護者の子育てや家庭の悩みや心配事に寄り添い、園児の様子をしっかりと見ていくことが大切である。</li> </ul>